

本のリサイクルフェア

読み終わった本をお譲りください

読み終わっていらなくなった本をご提供ください。それを必要とする図書館や学校、県民の方などに提供し、図書のリ利用を図ります。

- 1 提供図書の募集期間
8月4日(金)～8月11日(金) 9時から17時
* 恐縮ですが、ご持参ください。
* できるだけ新しい本を希望します。(雑誌、漫画・コミックス、学習参考書は除きます。)
- 2 図書の配布期間
8月25日(金)～8月27日(日) 9時から17時
* 対象は県民等個人とします(1人10冊まで)
* 持ち帰り用に紙袋などをご持参ください。
- 3 持ち込み場所および配布場所
県立図書館1階

リサイクルフェアをお手伝いください

期間中のボランティア募集

本のリサイクルフェアの期間中(8月4日～8月27日)に、県民の皆さんからお寄せいただいた本を分類・整理などしてくださるボランティアの方を募集します。

活動時間は、9時から17時までの間で自由に設定してください。
昨年秋のリサイクルフェアでは、約9千冊の提供がありました。

[問い合わせ先]
資料課資料整備担当
電話0952-24-2900

本で見ると佐賀

県立図書館で受け入れた図書の中から、佐賀に関する本を探してみましたのでご紹介します。

肥前の菓子

村岡 安廣 / 著
佐賀新聞社 / 刊

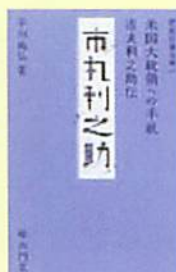
肥前の菓子の歴史を、肥前の風土、南蛮菓子、米の菓子、小麦の菓子、小城羊羹に分けて紹介。また、「逸口香」「丸ぼうろ」など、肥前の菓子の「今」も伝える本。



米国大統領への手紙

市丸利之助伝
平川 祐弘 / 著 出門堂 / 刊

硫黄島で玉砕した海軍航空部隊司令官・市丸利之助(唐津市出身)は、時の米国大統領ルーズベルトに宛てて日文・英文の遺書を残した。そしてこの手紙は、熾烈な戦禍をくぐり抜け米国に現存する。その手紙などを収録した本。



日峯さん

田中 耕作 / 著
佐賀新聞社 / 刊

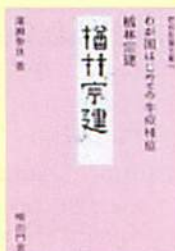
佐賀藩祖鍋島直茂(日峯さん)をはじめ藩政史上に垣間みえた7人の人々を描写した本。龍造寺に代わって佐賀藩を手中に取めた直茂を直茂公譜などを引用し、龍造寺との関係に心を痛める様子などを取める。



楢林宗建

深瀬 泰旦 / 著
出門堂 / 刊

百五十年前の鎖国か開国かという未曾有の危機に、品川台場への大砲の配備と長崎港の警備に重要な役割を果たした佐賀藩十代藩主鍋島直正のリーダーシップと、藩主を支えた人たちの努力のあとを辿った書。



幻の明治伊万里

蒲地 孝典 / 著
日本経済新聞社 / 刊

明治の初め、有田の若き陶工達は「精磁会社」を設立、鹿鳴館の晩餐会をも彩った洋食器の製作に生涯を賭けた。志半ばで悲運に見舞われた彼らの足跡を辿りながら名品を紹介した本。



円を創った男

渡辺 房男 / 著
文藝春秋 / 刊

日本の通貨「円」はいかにして生まれたのか。旧幕府時代の複雑な貨幣制度を廃し、統一通貨を「円」と命名するなど、若き日の大隈重信の苦闘を通して、近代国家誕生のドラマを描く歴史小説。

